

東芝製おしゃれ着トレー付き洗濯機を使ったウエットクリーニング

一般的な洗濯機のおしゃれ着洗いモードは攪拌と停止を繰り返し洗いますが、こちらの機種は底面のパルセーター(回転羽根)に衣類が触れないようにトレーを設けその上に衣類の乗せパルセーターで水をかきあげて洗濯槽サイド4か所に開けられたスリットから滝のように水を縦水流にして洗浄します。

ドライマーク衣類の洗浄をしても縮み・脱色・変形を起こしにくいですが、洗浄は自己責任で行ってください。



洗濯絵表示に上記のマークが付いていたら縮み・変形のリスクが低いです

	
<p>1 スーツ1着・カシミアセーター2枚洗浄。 左:重曹大さじ1杯/中央:アラウル30cc/ 右:ウルケア15cc&パリット30cc</p>	<p>2 洗濯機用混合栓 左が温水・右が水道水。 左は全開して、右の開放度合いで水温を28℃に調整。 注水時間が掛かるため1工程約25分。</p>
	
<p>3 洗浄5分・濯ぎ2回・脱水3分を設定。 白色の4ヶ所上部から水が注がれ縦水流循環で洗浄。</p>	<p>4 ドライ指定カシミア100%セーター。トレー上にて静止状態で洗い揉まれないため縮みが起きていません。</p>
	
<p>5 ジャケットは、襟裏のフェルトが縮む恐れがあるが、問題なく洗いあがった。全体の型崩れが起きておらず、小じわの発生も少ない。</p>	<p>6 スラックスの折り目線があまり消えず、また、裏の縫い合わせのシムが閉じていない状態で洗い上がり仕上げの手間が掛かりません。</p>

考案 エコショップ **ecomoo** 担当:木内